

「環境とグローバル・ポリティクス」(仮)

人間の活動が、地球環境に影響を及ぼすようになって久しい。しかし、環境問題が国際問題として認識され、解決に向けて本格的に協議されるようになったのは1980年代以降である。約30年が経ち、環境問題に対する国際社会の認識はようやく高まってきたといえよう。問題解決に向けた国際的な活動も多彩である。そして、これらの多彩な取り組みを研究対象とした研究の層も、徐々に厚くなってきた。既存の理論研究との接点も見出されている。

とはいうものの、環境問題は未だ解決したと言い切るにはほど遠い状態にある。「環境学栄えて環境滅ぶ」ことは避けるべきだろう。学問としてのクオリティを維持しつつ、実際に環境問題の解決に資する研究が、地球環境を対象とした研究には求められている。

本特集号は、初めての環境特集号であることを鑑みて、環境研究に関する国際政治・国際関係の理論分析、条約交渉過程、国の意思決定、国連等国際機関の意義、環境NGO等非政府主体の役割、アジア太平洋地域等の地域協力、途上国支援、レジームあるいはガバナンスのあり方、など、幅広いテーマの論文を募集する。この特集号を契機に、我が国でも環境をテーマとした国際関係論分野の論文が多数執筆されることを願っている。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと要旨を600～800字程度にまとめ、自宅および勤務先の住所・電話・FAX・メールアドレス（必要に応じて、出張や休暇中の連絡先を含む）を明記した上で、2010年8月31日（期限厳守）までに編集責任者にメールでお送りください。

テーマとの関係、本特集号の全体構成などを総合的に検討した上で、執筆をお願いする方には2010年10月15日までにご連絡いたします。なお、論文の提出の最終締切は2011年3月31日、論文の分量は注を含めて2万字以内とします。提出いただいた論文は、2名以上の匿名査読者による査読の対象となります。修正を含め、最終的な掲載の可否は査読後に決定しますので、この点を含めてご了承ください。

執筆要領については学会ホームページをご参照ください。要領を遵守してのご執筆をお願いします。<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jair/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お申込みやお問い合わせは、以下の編集責任者までお願いいたします。

《編集責任者》 亀山康子

《連絡先》 〒305-8506

つくば市小野川 16-2 (独法) 国立環境研究所地球環境研究センター

電話：029-850-2430 FAX：029-850-2960

Email：ykame★nies.go.jp

(★を@に変換してください)